



ゆるキャラ界一のノッポへ



本市のPR大使ベイガ船長。テレビやイベントの出演で多忙に活動する船長の健康を心配し、市職員の健康診査日にあわせて診査を受診してもらいました。

健康状態は良好であった船長。続く身長測定。特別の身長計で測ると、身長が8センチメートル伸び、358センチメートルになったのが発覚。これまで、日本一高いと言われていたのは、岐阜県のゆるキャラ、お城口ポ（身長355センチメートル）。

今回、この記録を塗り替え、ベイガ船長が日本一のノッポとなりました。



受継がれる伝統芸能浮立を披露

10月24日から26日、南有馬町八幡神社の秋のお祭りで、伝統の大江浮立が披露されました。

この浮立は、戦前から続く伝統芸能ですが、昭和42年から活動休止となっていました。26年経過した平成4年に、祭りの雰囲気を感じるとともに地域活性化のため、当時の有志者が復活させました。今年の大江浮立は、小学1年生から6年生の19人が参加。秋晴れの中、子どもたちは、笛や歌のリズムに合わせて太鼓を叩き、華麗な舞を披露しました。



巨大ツリー出現！クリスマスシーズン到来

毎年、南島原の冬のお祭り、フェスティバス ナタリスを前に、日本最大級の巨大ツリーと街路樹のイルミネーションが街を彩ります。

11月4日、有馬小学校で点灯式が行われ、同校の児童ら関係者が集まりました。参加者を代表して円口順誠くんがスイッチを入れると、巨大ツリーに明かりが灯り、幻想的な雰囲気に包まれました。点灯は年末まで行われます。



私たちは火遊びをしません

10月29日、布津多目的集会施設（世紀の泉）でチビッコ防火フェスティバルが開催されました。幼年消防クラブ員の防災意識の高揚を図ることを目的に行われた本フェスティバル。深江・布津町内の幼年消防クラブの子どもたちが参加し、煙体験や放水体験、救助機材を積んだ車両の見学などを行い、火遊び防止など火災予防の大切さを学びました。

生きたままの車えびを全国へ



10月29日、活車えびの出荷開始にあわせて、深江町漁協組合長らが市役所を訪れ、市長に出荷の報告をしました。活車えびは、有明海特有の潮流の早さと、潮の干満差によってキュッと身が締まり、甘さとぷりっとした食感が自慢で、箱を開けるとピンピン飛び出すほどです。深江町漁協では、6月に稚えびを放流後、丹精込めて育ててきました。例年、お歳暮やお正月の贈答用として人気で、えびが不足するほど。早めの注文がおススメです。

Focus in 南島原 まちの話題



盛況！みそ五郎まつり

伝説の大男、みそ五郎にちなんだお祭り、みそ五郎まつりが11月1、2日、西有家町須川商店街一帯で開催されました。みそ五郎パレードやチビッコ綱引き、カラオケのご自慢など多彩なイベントに加え、農水産物の販売やそうめんの試食などが行われ、来場者は秋の一日を楽しみました。また、1日の夜には堀内孝雄さんの歌謡ショーも開かれ、祭りは大いに、にぎわいました。

蔵に響くクラシック



10月25、26日、有家町でありえ蔵めぐりが開催されました。各会場では、日本酒やみそ料理の試飲・試食やかまぼこ、スイーツなどの販売が行われたほか、お店自慢の逸品が当たる「町巡り蔵めぐりお買い物ラリー」も開催されました。中でも、ありえ蔵めぐり音楽祭と銘打った酒蔵コンサートやミニコンサートでは、蔵の独特の雰囲気と音楽が調和して、来場したお客さんを魅了していました。



『みそ五郎まつり』
まちの話題(2~3)



『第24回 原城マラソン大会』
ランナー募集(15)



『セミナーヨ再現授業』
南島原から世界遺産を(17)

CONTENTS

まちの話題	2~3
平成26年南島原市表彰式	4~5
平成25年度 決算の状況	6~7
特集：ひまわり人	8
選挙のお知らせ	9
南島原にゆーす	10~15
復興への絆	16
南島原から世界遺産を	17
くらしの情報	18~22
島原半島世界ジオパーク	23
南島原市図書館だより	24
国際交流員・消費生活センター	25
保健事業のご案内	26~27
市民カレンダー	28